

北教だより

知識・技能の定着 記述力の向上に向けて

現在、「知識・技能の定着」や「記述力の向上」に向け、フォローアップ問題、「到達度確認問題」に取り組んでいただいているところかと思えます。それらの取組を通して各学校の児童生徒の課題も明らかになってきていることと思えます。以下に示した内容を日々の授業で設定していただき、児童生徒が思考力・判断力・表現力を発揮する際、自身で学んだ知識・技能を生かせるようなご指導をお願いいたします。

1月に実施される学力診断のためのテストに向けても補充や復習を行うなど、課題改善への取組を進めていただきますようお願いいたします。



◎授業の中で、このような「場」を設定していますか？

(1) 知識・技能の定着に向けて

- ① 児童生徒自身が**自分はどこでつまづいているのかを自覚する場**
(例) 一人で考えたあとに、友達と考える活動 など
- ② 児童生徒が**自分一人で解けるようにする場**
(例) 適用問題 など



(2) 記述力の向上に向けて

- ・一定の(求められている内容を書ける) **字数**を、**条件**に合わせて、**時間内に書く場**
 - ・**どのように書けばよいのか**を指導する場 ※指導者による適切な評価も必要
- (例) 適切な文章表現や専門的な用語の使い方 など



〈学力診断のためのテスト 令和7年 1月16日(木)、17日(金)実施予定〉

16日(木)	小学校4～6学年	国語・理科	中学校1・2学年	国語・理科
17日(金)		算数・社会		英語・数学・社会

SNSを起因とする問題行動の未然防止・早期発見早期対応に向けて

闇バイトに関する事件が全国的に急増するなか、本県においても、10月に中高生が悪質な強盗事件に関与する事案が発生しました。また、管内でもSNSを起因とする問題行動が発生し、その深刻化が懸念されています。各学校では、10月22日付文書【義教2102号】児童生徒への規範意識及びSNS等の危機管理の指導徹底について(通知)等をもとに、指導を続けていただいていることと思えます。

SNSを起因とする問題行動については、警察等の専門機関と早期に連携を図ることが大切です。また、児童生徒や保護者がSNSの危険性について理解を深めることも、問題行動の未然防止には大変重要です。冬休みは、児童生徒がSNS等を利用する時間も多くなると思えます。冬休み前に、次の資料等を活用した学級活動や学年集会を実施するなどして、問題行動の未然防止に向けた取組をお願いいたします。

<児童生徒向け資料> ※保護者会等での活用も考えられます。

- 文部科学省 情報モラル教育ポータルサイト(動画資料)

「写真や動画が流出する怖さを知ろう」

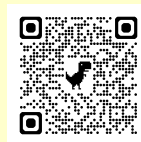
「情報の記録性、公開性の重大さ」

- 警視庁(動画資料)

「ネット上の自画撮り被害 たった一枚の写真から」

- 政府広報オンライン(動画資料)

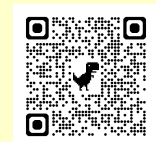
「自画撮り被害が増加! SNS上の出会いに要注意」 「ちょっと待って! その無料スタンプ大丈夫?」



文部科学省



警視庁



政府広報オンライン

<SNSに起因する事案が発生した場合の相談先> (教育委員会や学校も相談可)

- 茨城県警察本部 人身安全少年課 少年サポートセンター 029-231-0900(平日9:00～17:00)

- 茨城県警察本部 性犯罪被害相談「勇気の電話」 #8103または0120-21-8103(24時間相談可)

- 公益社団法人いばらき被害者支援センター #8891または029-350-2001(平日10:00～17:00)